

日本鉄鋼協会創立90周年記念シンポジウム

1915（大正4）年に設立された日本鉄鋼協会は、本年2005（平成17）年に創立90周年を迎えました。これを記念する事業の一環として、2005年3月28日、経団連会館にて、国内シンポジウム「日本の未来を担う鉄鋼材料―安心・安全・環境をキーワードとして」および国際シンポジウム「世界の鉄鋼首脳―社会に貢献する鉄鋼技術の未来を語る」を午前、午後に分けて開催しました。当日は、多くの方々にご参加いただき、大変盛況なシンポジウムとなりました。

このシンポジウムは、名古屋大学大学院・浅井滋生教授を委員長とする「90周年記念事業企画委員会」が企画したものです。委員会は2003年2月から、90周年を記念するに相応しい企画案について活発な意見交換を行い、準備を進めてきました。両シンポジウムは、これまでの記念事業には見られなかった催しで、当日の浅井委員長の開会挨拶でも紹介されたように「100周年に結びつける」という基本的考えに立ち、特別企画として開催されたものです。

国内シンポジウム 「日本の未来を担う鉄鋼材料―安心・安全、環境をキーワードとして」開催報告

90周年国内討論会ワーキンググループ

国内シンポジウムは、鉄を作る側の方々からではなく、鉄を使っていたり方々、周辺分野で鉄と関わりの深い方々から、鉄をどう使うか、どう生かすか、さらに今後日本の鉄の果たすべき役割などについての、ご期待やご注文を率直に述べていただき、次代の鉄の使い方と作り方についての方向性を探っていこうという趣旨で企画されました。

浅井委員長の「これまでは鉄鋼協会の中で行う議論は、鉄鋼材料の必要性や優位性について、我々専門家の立場から議論してきました。けれども今回は、鉄を使っていたり方々や鉄の周辺からものを見ている方に御越しいただきました。たっぷりご静聴いただき、これからの鉄鋼材料について考える機会となれば幸いです」との開会挨拶で始まりました。

その後、独立行政法人物質・材料研究機構長井寿氏の司会により、各界でご活躍の6名の方にご講演いただきました。



写真1 90周年記念事業企画委員会・浅井委員長の挨拶

表1 国内シンポジウムのプログラム (2005年3月28日開催)

国内シンポジウム			
9:30～9:40	開会挨拶	浅井 滋生	90周年記念事業企画委員長 (名古屋大学 大学院工学研究科材料プロセス工学専攻 教授)
9:40～10:00	講演1 未来の自動車と鉄への期待	鈴木 正実氏	トヨタ自動車(株) 車両技術本部第2材料技術部金属材料室 室長
10:00～10:20	講演2 豊かな地球・都市環境を作る建設産業	藤盛 紀明氏	清水建設(株) 常務執行役員 技術戦略室長技術研究所長
10:20～10:40	講演3 21世紀のエネルギー供給と材料	湯原 哲夫氏	東京大学 大学院工学研究科環境海洋工学専攻 教授
10:40～10:55	休憩		
10:55～11:15	講演4 素材産業と地球環境	細田 衛士氏	慶應義塾大学 経済学部 教授
11:15～11:35	講演5 鉄鋼産業の環境技術力	小澤 純夫氏	経済産業省 製造産業局鉄鋼課 製鉄企画室長
11:35～11:55	講演6 鉄に、もっと夢と戦略を	浅羽 雅晴氏	読売新聞社 編集委員
11:55～12:00	閉会挨拶	長井 寿	90周年国内討論会WGリーダー (独立行政法人物質・材料研究機構 超鉄鋼研究センター長)

限られた時間の中でそれぞれの専門分野における取り組み、将来への展望、そして鉄鋼材料の役割、ニーズ、課題などが詳しく説明され、これから10年、20年先を見込んで、鉄がどのように期待されているか、どのような問題があるかを縦横に語っていただきました。各講演の興味深い内容に、熱心に聴き入る参加者で会場はあふれました。また、各講演後には簡単な質疑応答も行われ、瞬く間に有意義な時間が過ぎました。もう少し時間に余裕を持ってより活発な意見交換ができればもっと良かったという意見も終了後多く寄せられました。これを機会に、このような意見交換がさらに広がっていくことが大いに期待されます。



写真2 熱心に聞き入る参加者

国内討論会WG

リーダー：長井 寿 (物材機構)

委員：高木節雄 (九大)、長坂徹也 (東北大)

事務局：大森克己、亀井千春